



暴力とイスラーム

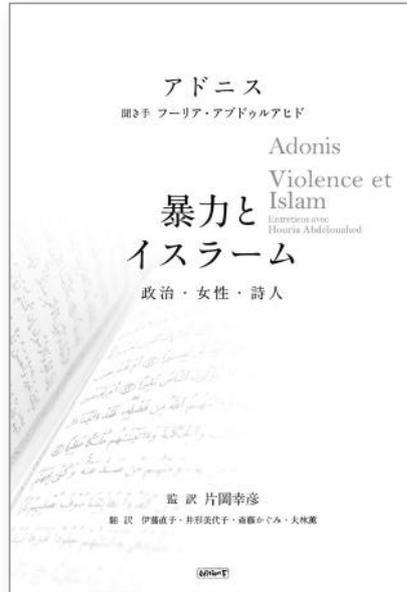
政治・女性・詩人

シリア詩人アドニス語る イスラームとアラブ

“イスラームに内在する暴力がムスリムたちに
どれほど影響を及ぼしているか。知性もさる
ことながら、人間性そのものさえ損ないかね
ないほどなのです。”

“イスラームは男女両性の在り方を歪曲し、愛
を否定し、女性的自我と男性的他者との関わりを、つまり、あらゆる人間関係を捻じ曲げて
しまったのです。”

“彼らはただひと筋に信じる以外、ないの
です。こうして暴力は神聖化され、公称の「歴史」もまた、神や預言者によって創造されたこ
とになりました。” ————— 本文より



監訳 片岡幸彦

翻訳 伊藤直子・井形美代子・斎藤かぐみ・大林薫

2017年
6月1日発売予定

四六判 約250ページ
定価：本体2,400円＋税
ISBN978-4-9908091-3-3
C0036

〈目次〉

- 止むことなく破壊は続く
- 公称の「歴史」を読み直す
- イスラームの成立とその精神
 - ・コーランには何が書かれているのか
 - ・女性、女性性、女性的なるもの
- 「イスラム国」を衝き動かすもの
- アラブに執着し続けるヨーロッパ
- 芸術と宗教、神話と宗教
- 詩は言葉と戒律の狭間で
- 真正アラブ・イスラーム史の
復権のために
- 「記憶」から人々を救うために
- 結語 本質主義に抗して

現代アラブ世界を代表する詩人アドニスと
気鋭の精神分析学者フーリア・アブドゥルアヒドが

同胞と世界に送る渾身のメッセージ

著者：アドニス

1930年シリア北部ラタキア県生まれ。現代アラブ世界を代表する詩人。本名はアリ・アフマド・サイード・イスビル。父親の教えでコーランはもとより幼少時から詩に親しむ。ダマスカス大学で哲学を専攻。1955年シリア国民党弾圧にともない、党员とみなされて6か月間投獄される。釈放後レバノンへ移住し、ベイルート大学で博士号取得。1960～61年のフランス留学を経て、ベイルート大学で教鞭を執る。1980年、フランスへ亡命、在住。アラビア語で詩を書き続け、精力的に詩集を発表、各国語に翻訳されている。

聞き手：フーリア・アブドゥルアヒド

パリ第七 (Denis Diderot) 大学准教授、精神分析学者。専門分野における自身の著作のほか、アラビア語からフランス語への翻訳者として主にアドニスの著書の翻訳を多数手がける。

エディション・エフです
よろしくお願ひします

「手と心の記憶に残る本づくり」
をめざす、京都の小さな出版社です。

お問い合わせ：info@editionf.jp
TEL 075-754-8142 担当：岡本

ご注文は

JRCへ FAX: 03-3294-2177

●すべての取次への出荷が可能です。

●返品は常時お受けいたします。(了解者：JRC 後藤)

貴店番線印	注文数	発行 エディション・エフ	返品 条件付き注文扱い
		暴力とイスラーム 政治・女性・詩人	
アドニス 著 片岡幸彦 監訳	定価：本体2,400円＋税 ISBN978-4-9908091-3-3 C0036		
(株)JRC TEL 03-5283-2230 FAX 03-3294-2177			
ご担当：	様	冊	